

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービスいっぽいっぽ		
○保護者評価実施期間	2025年12月27日		～ 2026年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	29名	(回答者数) 21名
○従業者評価実施期間	2026年1月9日		～ 2026年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 8名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	電話・お帳面・LINE・面談・送迎時のやり取り等を通して、こどもの様子を共有しながら保護者との連携を大切にしていること。	保護者が安心して相談できるよう、保護者の気持ちに寄り添った対応を大切にしながら、相談に応じられる職員の育成や職員間での情報共有に取り組んでいる。	保護者が安心して相談できるよう、研修や事例共有を通して職員の支援力の向上を図っていく。
2	職員間で日々の打合せや情報共有を行い、こどもの状況や変化に応じてチームで支援内容を検討しながら支援を行っていること。	職員全員がいつでも確認できるツールを活用し、こどもの様子や状況についての情報を職員間で共有し、職員全員が把握できるようにしている。	記録の精度を高めるとともに、記録からこどもの状況を読み取る力の向上を図り、情報共有を充実させることで支援の質の向上につなげていく。
3	こどもの特性や発達段階に応じて、個別活動と集団活動を組み合わせながら柔軟に支援を行っていること。	日々のこどもの様子や興味関心を踏まえながら活動内容を調整し、個別活動と集団活動を状況に応じて組み合わせることで、一人ひとりが無理なく参加できるよう工夫している。	こども一人ひとりの特性や発達段階への理解を深めながら、活動内容や支援方法の工夫を重ね、より一人ひとりに合った支援の充実を図っていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	日々の活動の目的や工夫について、保護者へより分かりやすく伝えていくことが課題である。	日々の活動の様子は共有しているものの、活動の背景にあるねらいや支援の意図まで十分に共有できていないことが要因と考えられる。	活動の目的や支援のねらいについて、日々の記録やおたより等を通して分かりやすく伝える工夫を行い、保護者への共有を充実させていく。
2	こどもの特性や発達段階に応じた支援をより充実させるため、職員の専門性をさらに高めていくことが課題である。	こどもの多様な特性に対応するため、職員全体の知識や支援力をさらに高めていく必要があることが要因と考えられる。	研修への参加や職員間での事例共有を行い、こどもの特性や発達段階への理解を深め、職員全体の専門性の向上を図る。
3	こどもの興味や発達段階に応じた活動となるよう、教材や環境づくりをさらに工夫していく必要がある。	限られた時間の中で工夫を行っているが、教材や環境づくりについては、さらに充実させていく必要があると考えられる。	業務の整理を行い、教材準備や環境づくりに充てる時間を確保しながら、活動内容の充実につなげていく。